

令和6年12月23日
福岡小児歯科集談会会長 二木 昌人

福岡小児歯科集談会講演会ご案内

令和6年も残すところわずかですが、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。令和7年の年明けに、以下の日程と会場で講演会を企画いたしました。今回は、歯の外傷分野ではご高名な宮新先生をお招きしております。私たちの日常臨床に資するところが大きいと思いますので、皆さまふるってご参加ください。

日程：令和7年2月5日（水）19：30 - 21：00

会場：福岡県歯科医師会館4F 第4会議室

「外傷を主訴に来院された方への対応と管理」

講師 宮新 美智世 先生

元東京医科歯科大学大学院小児歯科学・障害者歯科学分野

分野長(准教授)

元東京医科歯科大学歯学部臨床教授（小児歯科外来）



抄録

歯や口の外傷は小児患者に比較的多く、急患来院になることもまれではありません。外傷は、小児期に永久前歯を喪失させる最大の要因で、乳歯の場合は約半数が後継永久歯の形成不全を生じます。しかし歯や口のケガについては一般には未だ十分知られていないため、生えたとの歯が欠けたり失われることは子どもと家族を動転させ悲しませます。実際、外力によって歯・歯周組織・歯髄のすべてが何らかの損傷を受けていますが、受傷直後の時点では損傷の全体像を把握することはできないという限界もあります。また、受傷直後の対応が術後経過を左右することが知られており、口腔機能を回復させながら定期的に診査を続けます。その途中で新たな異常や合併症が出た場合は、治療の追加もあるので、定期的な受診により正確に診断し、歯髄壊死や歯根破折、歯根吸収などの併発症の害を阻止することを患者さんに伝える必要があります。さらに、口腔内細菌は創の治癒を阻害するので、清潔状態を保つことが受傷歯の治癒に大きな意義を持っています。したがって、口腔衛生指導や衛生管理が必須で、損傷部に適したホームケアを保護者に短時間で理解させ、実行可能にする必要があります。情報提供は長く来院を続けてもらえる関係性の構築のために重要です。特に、受傷後の診療の流れや患者さんのお口がどのような経過をとるのかについて納得して、安心して帰宅してもらうことは、その後の円滑な診療の基盤です。このように受傷当初の業務は多様でかつ予後を左右するので、歯周病や緊急事態への対応同様に、スタッフで役割分担した効率よい体制で備えることをお勧めします。

一方、外傷を受けた歯は、後に歯髄壊死や歯根吸収、歯の変色や位置異常などの合併症が

出現する時期が明らかにされつつあります。受傷歯は、初期の対応が良好だと治癒率が高い一方、術後管理ができないと合併症が阻止できずに歯を失います。なかでも乳歯や根未完成歯の歯髄保存療法や歯内療法を適切に実施することは良好な経過をえるための基盤で、特に小児に対しては長期予後が良好な治療法を選びたいものです。

このたびは、歯や歯周組織、咬合機能の保存を達成するために有効な受傷歯への初期対応法や、術後の経過と合併症の管理と治療法、歯内療法の実際、予防法などをお伝えしたいと思います。

[略歴]

昭和 56 年 3 月 東京医科歯科大学 歯学部歯学科 卒業

平成 26 年 10 月 東京医科歯科大学大学院小児歯科学分野分野長（准教授）

令和元年 11 月 東京医科歯科大学大学院小児歯科学・障害者歯科学分野分野長

令和 2 年 4 月 東京医科歯科大学 歯学部 臨床教授（小児歯科外来）

令和 6 年時点では

日本外傷歯学会副理事長、認定医指導医

日本小児歯科学専門医・指導医、

日本子ども虐待防止歯科研究会理事

日本小児保健協会 小児科と小児歯科の検討委員会委員

はなここどもの歯のクリニック・指導医

主著書

歯の外傷で小児が来院したら（クインテッセンス出版）

子どもの歯と口のケガ（言叢社）

共著

小児歯科学第 4 版

小児歯科学第 5 版（医歯薬出版）

小児歯科ガイドブック（医歯薬出版）

小児科外来や乳幼児健診で使える食と栄養相談 QA 改訂版第 2 版（診断と治療社）

公的健康診査での保護者に寄り添う子育て支援（小児保健協会）等

参加費 医院会員 歯科医師およびスタッフ 無料

個人会員 歯科医師 無料 医院スタッフ 1,000 円

ビジター 2,000 円

*講演会参加は、日本小児歯科学会の専門医更新で 5 単位が認められております。

参加証ご希望の方は、当日お申し出ください。